

栃木県現代俳句協会報

No. 168



第一六八号

発行所

〒三三七〇三二五
佐野市吉水駅前一五十八 水口方

栃木県現代俳句協会

発行人

中井 洋子

編集人

松本 登子

令和五年二月二十五日発行

ご挨拶

栃木県現代俳句協会

会長 中井 洋子



令和五年の新春を迎えお慶び申し上げます。この度、新会長を仰せつかりまして、ひと言ご挨拶申し上げます。

当協会は石田会長から和田会長に引き継がれ、四十年近くになりますが、盤石な組織と多彩な事業により風土性が生みだされたように思います。その中でお二人の強いリーダー

シップに私たち会員が覚醒され、仲間意識が育まれたといっても過言ではないでしょう。

昨今の俳句界には、俳句を組織の外で娯楽として楽しんだり、少人数のグループで自由に学ぶといった時代の変革や流れが伺えますが、より大きな輪の中には新しい経験がたくさん有るはず、ぜひ交歓し共有したいと願っています。高齢化も課題の一つですが、まずは俳句の魅力を地区協会として体現し、発信することが肝要ではないかと思えます。

「楽しく」「後味良く」を旨に、全員参加の協会活動が推進されますことを切に希い、ご協力をお願いするさせていただきます。

明日へ

栃木県現代俳句協会

名誉会長 和田 浩一

明けましておめでとうございます

昨年はコロナ禍の中で、創立三十五周年記念の「栃木俳句フェスティバル」と「第三十回現代俳句色紙展」を七波と八波のはざまで開催出来ました。これも偏に役員と会員の皆様のご支援・ご協力のお蔭です。厚く御礼申し上げます。

栃木県現代俳句協会の活動は現代俳句協会の中では高い評価を受けております。そして、今、新しい時代の幕明けの時が来しました。

七期十四年にわたり、会長を皆様のご支援により、務めさせていただきましたが今期を迎え退任させていただきます。

当協会はこの総会を契機に新たな陣容で創造的な活動を展開して行くでしょう。

創立以来、三十六年余、多くの先達の方々役員・会員の皆様に支えられて活動して来ましたが、大過なく引継ぐことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

◇ 支部組織
 組織部 □遊座純子 小杉栄美子(兼)
 ○本間睦美(兼) □神山姫余(新)

◆ 支部組織
 総支部長 佐々木輝美
 総支部長代理 山野井朝香

中村國司(新・兼)

① 支部長 □副支部長
 宇都宮支部 宇都宮市 下野市 茂木町
 高根沢町 大田原市 真岡市 那須塩原市

那須町 矢板市 那須烏山市 さくら市
 塩谷町

○中村國司(兼) □森本金一(新)

② 上都賀支部 鹿沼市 日光市

○本間睦美(兼) □北山暁亀(新)

③ 県西支部 足利市 佐野市

○山野井朝香(兼) □中田陽子(新)

④ 栃木支部 栃木市

○佐々木輝美(兼) □斎藤絢子(新)

⑤ 県南支部 小山市 下野市 野木町

○小杉栄美子(新) □遊座純子(新)

□王驕(新)

○王驕(新)

○監査会

監査役 石川和子 中村國司(新)

○参 与 大豆生田伴子 和田璋子(新)

宇津木玲華 青木廣子

高木洋子(新) 沼田 満(新)

○支部句会講師

和田浩一(代) 中村克子(新)

○三龜句会 石倉夏生

○亀の会 速水峰郎

○きらら句会 須藤火珠男

○山麓句会 中井洋子

特別選者 和田浩一 中井洋子 石倉夏生

速水峰郎 須藤火珠男 中村克子

大竹照子(新) 水口圭子(新)

現代俳句協合理事 中井洋子(候補) 水口圭子

現代俳句協会名誉会員兼全国大会特別選者

和田浩一

新春俳句会作品集

◆特選賞

和田 浩一 選

スカジャンの背中の麒麟開戦日 佐々木輝美

中井 洋子 選

密やかな生きものひとつ初日記

石倉 夏生 選

冬キャベツ刻み戦を知らず老い 和田璋子

速水 峰郎 選

目の癒えて日差しの中の冬薔薇 遊座純子

須藤火珠男 選

もう箸を持ってぬ母な湯気立つ椀 増山ちさ

中村 克子 選

スカジャンの背中の麒麟開戦日 佐々木輝美

◆最高得点句

踏み合の思わぬ高さ大晦日

戦見て来し白鳥の声高し

佐々木輝美
水口圭子

◇その他の作品(順不同)

日向ぼこ弥勒菩薩の腕の中

ヒヤシンス悲しみを横向きに聞き

寒林の隙間に狙撃手の気配

柚子の尻ぼこんと突き湯を上がる

感性を湯舟にて研ぐ柚子五つ

寒月光己が影より羽音して

初日待つ水平線の一点を

兄在れば語りたきこと水中花

包弾は雨に変わるか雪なのか

餅のびる未来へのびる背ものびる

微熱あり紅い山茶花散るあたり

真ん中に「福助人形」初写真

ひと言が一刀となる霜の夜

髪染めて機嫌良き妻小鳥来る

初日さす芭蕉全句の背表紙に

戻らない人待つように冬ざくら

木枯の寄り道多し蔵の街

味噌の香のしみつく暖簾松飾り

雨あとの風の湿りや賀状書く

頬にあて病む母思う寒卯

和田浩一
中井洋子
石倉夏生
速水峰郎
須藤火珠男
中村克子
高木洋子
堀 秀子
本間睦美
宇津木玲華
北島洋子
小杉恵美子
根本菜穂子
沼田 満
中村國司
戸田富美子
大竹照子
橋本尚子
青木廣子
山野井朝香

第67回俳句研究会のご案内

- ☆期 日 令和5年3月29日（水）
 ☆会 場 万葉の里・城山記念館
 ☆吟行地 佐野城址、市街散策
 ☆投句締切 13時 囁目 3句
 （投句と同時に受付、昼食は予め済ませて下さい）
 ☆句 会 13時30分～16時
 ☆会 費 500円

◎万葉の里・城山記念館

佐野市若松町504 TEL0283-23-0728

・県西支部 山野井朝香 TEL0283-85-2039

・第一事業部 増山 ちさ TEL0282-27-1451

※感染症対策 各自

※状況により内容に変更あり

◇新入会員紹介

・高田栄子（小山市）推薦者 和田浩一

リラ冷えやシャッター多き織維街

退院の友の傷あと濃紫陽花

薬を取り生けたる百合の無表情

・中村亜希子（小山市）推薦者 和田浩一

梅雨晴れの屋根へ乳歯の放物線

羽ばたきに黄泉覗かせる黒揚羽

ミッキーに小さき手をふる雪の夜

・江口 悠（壬生町）推薦者 和田浩一

春の雨報告書書く時間外

老い猫に膝貸し夏の午後閑か

揺らぎ立つゴッホの黄色麦嵐

・原田利江（小山市）推薦者 和田浩一

この川のこの場所が好き遠火花

梵鐘の一打は父へ冬ざくら

パン種のぷくり膨らむ夜の秋



◇お知らせ

○和田 浩一

現代俳句二月号に「地区協
だより」栃木地区編」が掲
載されました。

*役員会開催

令和四年十二月五日(月)小山
市生涯学習センターに於い
て、令和四年度第四回役員
会が開かれました。

※次号169号の

原稿締切りは

4月10日です。

~~*~*~*~*~*~*~*~*